

項目	主な発言・提案の内容	対応状況
1 死因究明等に係る人材の育成	・若い先生に検案について理解を深めてもらうため、県として研修会を働きかけていけばいいと考える。	・研修医に対する研修について、医療局と情報共有の上、開催方法、開催時期等について検討中
1 死因究明等に係る人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修医に検案について説明する機会があればよい。</li> <li>・岩手県の研修の場で検案とは何か、死因究明の活動とは何かということを法医学、法歯学が話す機会を県で設けてもらえるなら話したい。</li> <li>・岩手検案医会で毎年勉強会をやっているし、法歯学も岩手県法歯学セミナーを毎年開催しているので、それらをアピールするのは大事かと思う。</li> </ul>	
1 死因究明等に係る人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩手県の研修医が集合する研修会が2回あり、1回目は4月に一年次の研修医だけが集まる合同オリエンテーション、2回目は9月ぐらいに二年次のスキルアップセミナーを開催している</li> <li>・どこかの機会話をしたり、告知するタイミングがあってもいいと思う。</li> <li>・県の方からそのような時間を入れてもらえるようお願いしていくのがいいと思う。</li> </ul>	
2 警察等における死因究明等の実施体制の充実	・医療DXが進んでいると思うが、どの程度死因究明に活用できるものなのか教えてほしい。	・引き続き国の動向を注視
4 死因究明のための死体の科学調査の活用	・厚労省から法医学、法歯学と児童相談所の連携について通知されているが、岩手県では進んでいないので、次年度以降進めていきたい。	・他県での法医学、法歯学と児童相談所の連携状況について情報取集中